

平成27年度行政評価に関するアンケート結果

1 アンケート調査の実施概要

(1) 目的

みよし市の行政運営を評価する場合において、総合計画に掲げた22の施策における各取組に対する満足度、重要度について市民の皆さまの考えをお聞きすることにより、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しています。

(2) 調査期間

平成27年11月17日（火）【発送】～平成27年12月18日（金）【返信締切】

(3) 調査対象者

20歳以上の市民の方1,000名を住民基本台帳から無作為に抽出しました。

(4) 調査方法

調査対象者の属性に関すること、みよし市の住みやすさなど市全体に関することのほか、下記の22項目に区分した市の取組事項に対する満足度、重要度及び総合的な満足度を4段階で区分し調査しました。調査票は、郵送により配布し同封した返信用封筒により回収しました。

政策名	設問	設問の概要
人と自然が共生する快適な環境	1-1	計画的な土地利用の推進について
	1-2	緑豊かで快適な美しいまちづくりについて
	1-3	生活環境の確保について
健康で生きがいのある暮らし	2-1	福祉対策の充実について
	2-2	保健・医療対策の充実について
	2-3	生涯学習の充実について
	2-4	文化・芸術の振興について
	2-5	スポーツの振興について
安全で安心して住み続けることができる地域	3-1	安全で快適な住環境が整ったまちづくりについて
	3-2	公共交通対策の推進について
	3-3	道路の整備について
	3-4	交通安全、防犯、防災対策について

政策名	設問	設問の概要
魅力ある活力とにぎわいのまち	4-1	農業の振興について
	4-2	商工業の振興について
	4-3	国際交流の推進について
	4-4	友好都市交流の推進について
社会と次代を担う自立した人材の育成	5-1	子育て支援について
	5-2	教育の充実について
	5-3	青少年健全育成について
市民と行政の協働による自立した自治体経営	6-1	地域住民組織体制の確立について
	6-2	情報の公開と透明性の確保について
	6-3	健全な財政運営の推進について
総合満足度について	7	総合的に考えた場合の満足度について

(5) 回収結果

アンケートは、429 人（42.9%）の方から回答をいただきました。性別、年齢、居住地区などの詳細は、以下のとおりです。

（性別・年齢別一覧）

区 分	対象者数	配布数 (A)	構成比	回収数 (B)	構成比	回収率 (B/A)	
総 計	45,936	1,000	—	429	—	42.90%	
性 別	男 性	23,570	527	52.70%	185	43.12%	35.10%
	女 性	22,366	473	47.30%	240	55.94%	50.74%
	性別未記入	—	—	—	4	0.93%	—
年 齢	20～29 歳男性	3,795	34	3.40%	17	3.96%	50.00%
	20～29 歳女性	3,206	21	2.10%	32	7.46%	152.38%※
	30～39 歳男性	4,439	98	9.80%	32	7.46%	32.65%
	30～39 歳女性	3,906	89	8.90%	45	10.49%	50.56%
	40～49 歳男性	5,544	134	13.40%	39	9.09%	29.10%
	40～49 歳女性	5,385	122	12.20%	71	16.55%	58.20%
	50～59 歳男性	3,707	93	9.30%	35	8.16%	37.63%
	50～59 歳女性	3,228	67	6.70%	38	8.86%	56.72%
	60～69 歳男性	2,930	67	6.70%	31	7.23%	46.27%
	60～69 歳女性	3,054	62	6.20%	30	6.99%	48.39%
	70 歳以上男性	3,155	101	10.10%	31	7.23%	30.69%
	70 歳以上女性	3,587	112	11.20%	24	5.59%	21.43%
年齢未記入	—	—	—	4	0.93%	—	

対象者数は、平成 27 年 11 月 1 日現在の 20 歳以上の人口

※回収率が 100%を越えているのは、そう先のご家庭の中で別の方が回答したことによるものと思われます。

(居住地区別一覧)

区 分	対象者数	配布数 (A)	構成比	回収数 (B)	構成比	回収率 (B/A)	
居 住 地 区	新 屋	3,797	88	8.80%	38	8.86%	43.18%
	三 好 上	4,971	108	10.80%	42	9.79%	38.89%
	三 好 下	3,771	91	9.10%	36	8.39%	39.56%
	西 一 色	670	11	1.10%	8	1.86%	72.73%
	福 田	1,125	19	1.90%	12	2.80%	63.16%
	明 知 上	1,383	39	3.90%	20	4.66%	51.28%
	明 知 下	827	16	1.60%	8	1.86%	50.00%
	打 越	2,270	44	4.40%	22	5.13%	50.00%
	筋 生	3,137	68	6.80%	33	7.69%	48.53%
	福 谷	2,700	57	5.70%	27	6.29%	47.37%
	黒 笹	2,891	74	7.40%	33	7.69%	44.59%
	東 山	2,394	50	5.00%	17	3.96%	34.00%
	高 嶺	153	5	0.50%	3	0.70%	60.00%
	好 住	230	9	0.90%	1	0.23%	11.11%
	中 島	538	11	1.10%	0	0.00%	0.00%
	ひばりヶ丘	1,276	39	3.90%	14	3.26%	35.90%
	あみだ堂	368	8	0.80%	1	0.23%	12.50%
	山 伏	134	2	0.20%	0	0.00%	0.00%
	平 池	306	7	0.70%	7	1.63%	100.00%
	上 ヶ 池	294	3	0.30%	3	0.70%	100.00%
	三 好 丘	3,733	67	6.70%	22	5.13%	32.84%
三 好 丘 緑	2,151	52	5.20%	23	5.36%	44.23%	
三 好 丘 旭	2,811	57	5.70%	18	4.20%	31.58%	
三 好 丘 桜	2,182	41	4.10%	22	5.13%	53.66%	
三好丘あおば	1,824	34	3.40%	14	3.26%	41.18%	
居住地未記入	—	—	—	5	1.17%	—	

※対象者数は、平成 27 年 11 月 1 日現在の 20 歳以上の人口

(6) 今後の活用方法

行政評価における施策評価、事務事業評価において、本アンケートを平成 27 年度の実績値としてとらえ、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

2 アンケート調査結果

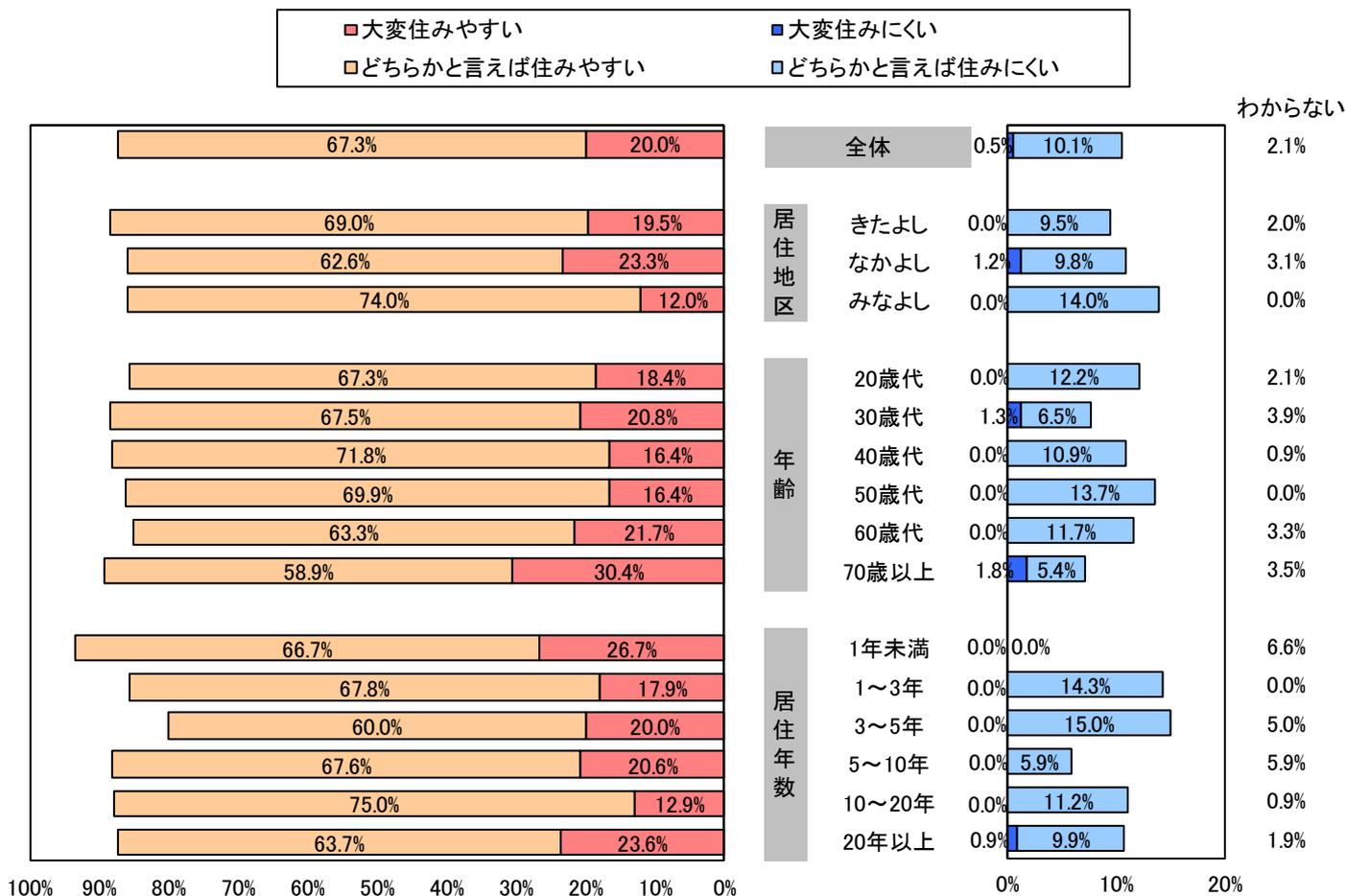
(1) 住みやすさについて

みよし市の住みやすさについて、「どちらかといえば住みやすい」が 67.3%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が 20.0%と、およそ9割(87.3%)の人が“住みやすい”と評価しています。一方、「大変住みにくい」(0.5%)と「どちらかといえば住みにくい」(10.1%)を合わせた、“住みにくい”とした人はおよそ1割(10.6%)となっています。

世代別でみると、“住みやすい”とした人の割合は、「70歳以上」が最も高く 89.3%で、次に「30歳代」の 88.3%で、最も低いのが「60歳代」の 85.0%となっています。さらに、居住年数別では、「1年未満」の 93.4%、「5年以上10年未満」では 88.2%の人が“住みやすい”と回答しています。

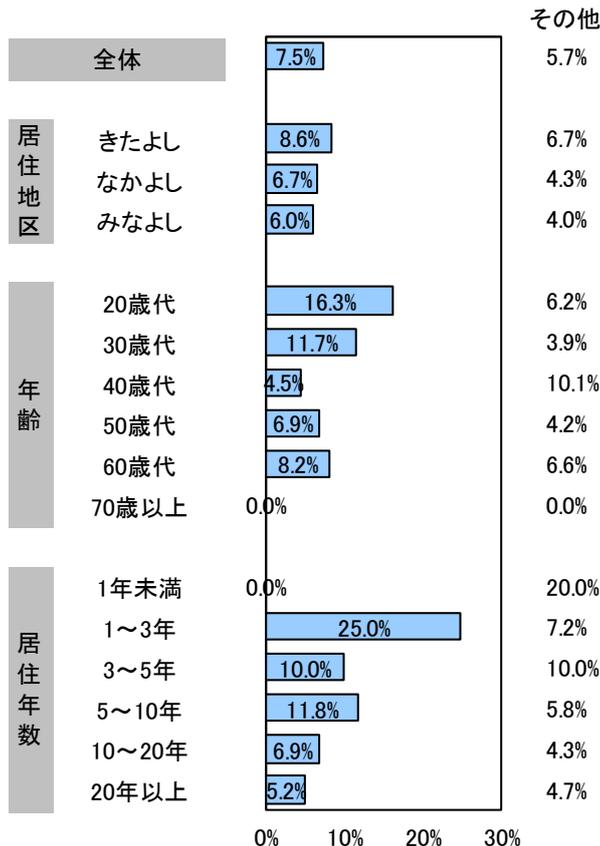
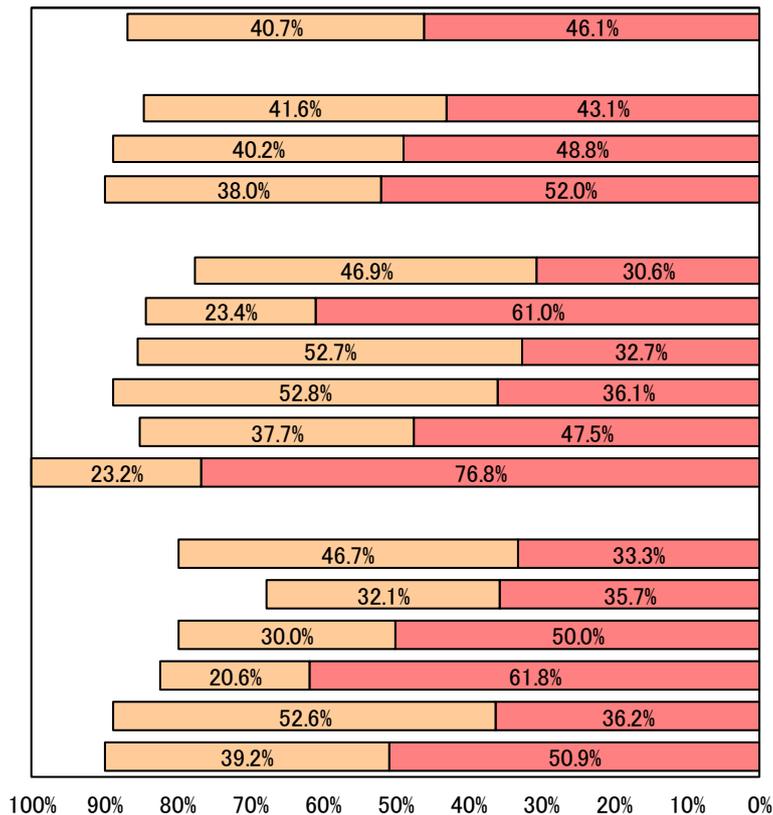
今後も住み続けたいかという問いに対しては、86.8%の人が「今後も住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と答えています。“住み続けたい”主な理由としては、「住環境がよい」(195件)、「自然環境がよい」(184件)となっています。その他の理由としては、「災害の心配がない安全なまちだから」などの意見がありました。一方、“住み続けたくない”理由は、「電車・バスなどの交通の便が悪い」(31件)、「買い物などの利便性が悪い」(20件)となっています。その他の理由としては、「車がないと生活しづらい」などの意見がありました。

【住みやすさ】



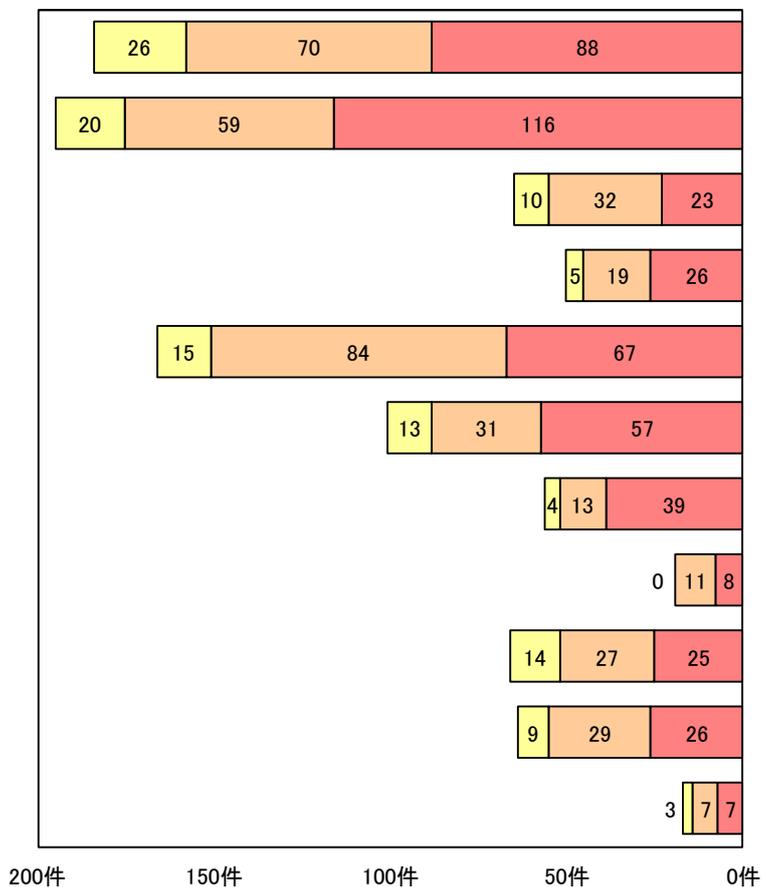
【今後も住み続けたいか】

■ 今後も住み続けたい □ どちらかと言えば住み続けたい □ 住み続けたくない



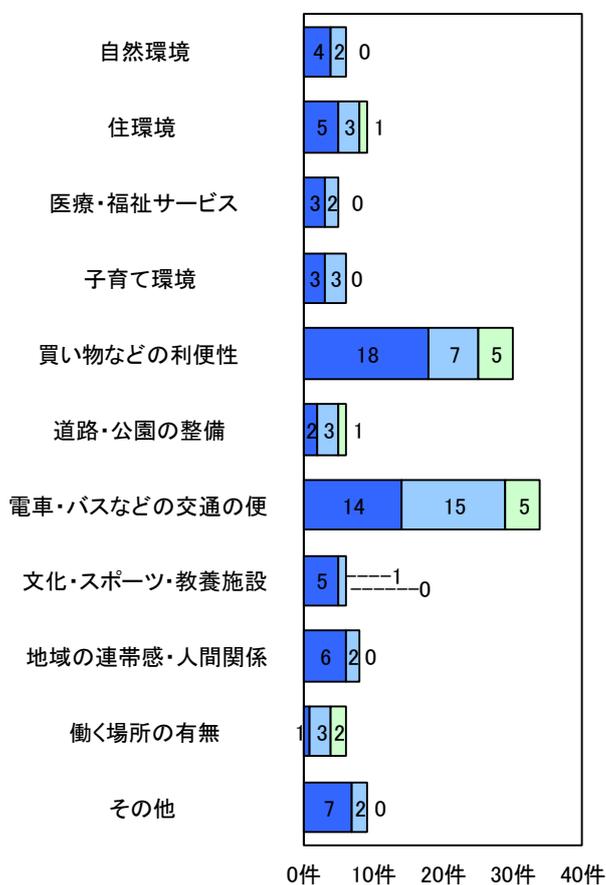
【住み続けたいと思う理由】

■ きたよし □ なかよし □ みなよし



【住み続けたくないと思う理由】

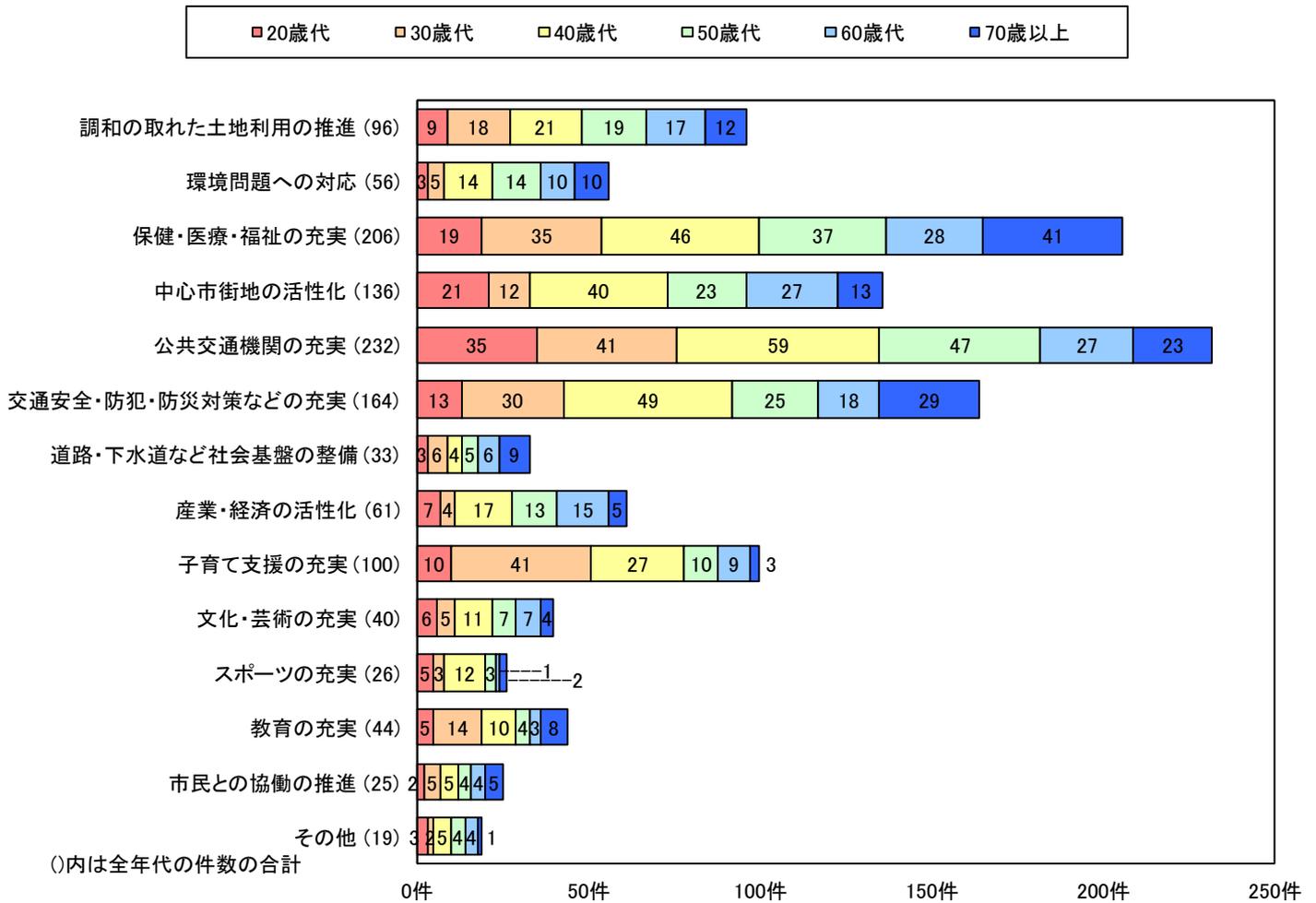
■ きたよし □ なかよし □ みなよし



(2) 「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことについて

「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことの問題に対しては、「公共交通機関の充実」(232件)が最も多く、次いで「保健・医療・福祉の充実」(206件)、「交通安全・防犯・防災対策などの充実」(164件)となりました。

【住みよいまちとするために重点的に取り組むこと】



(3) 市の取り組み（施策）項目別の重要度・満足度評価

本アンケートでは、総合計画における政策6分野を実現するための手段となる22項目に区分した市の取り組み（施策）に対する個別の重要度・満足度と、市の取り組み全体に対する総合的な満足度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価得点をつけて、回答者による平均得点を算出し評価指標としました。

重要度	満足度	得点
重要	満足	5点
やや重要	やや満足	4点
あまり重要でない	やや不満	2点
重要でない	不満	1点
わからない	わからない	—

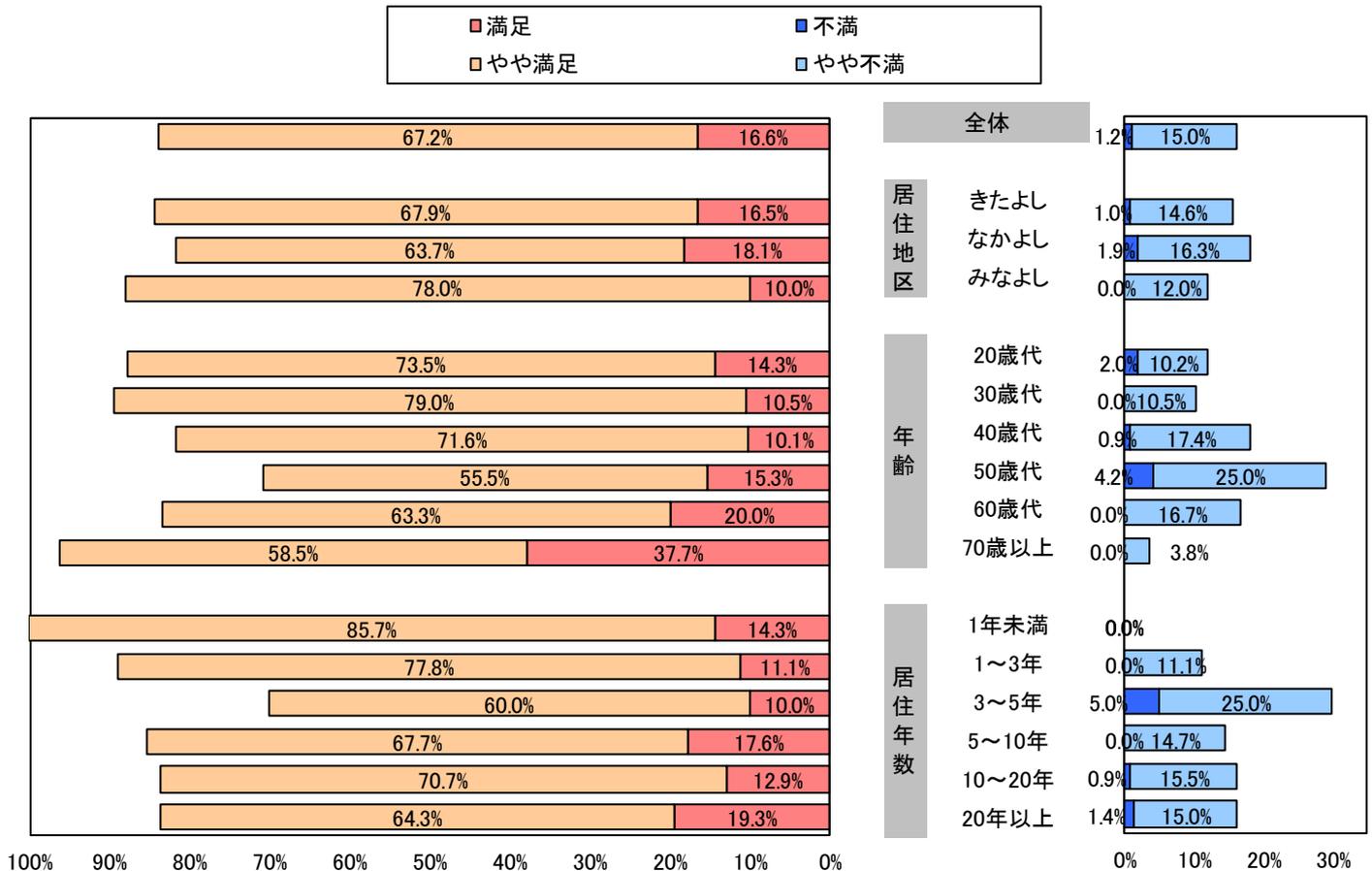
ア 総合的な満足度(質問7)について

今回の調査による平均点は、3.536 の「やや満足」の水準であり、調査対象者のうちおよそ8割(83.8%)の人が「満足」、「やや満足」と答えています。

世代別で見ると、「70歳以上」の96.2%が「満足」、「やや満足」と答えており、「満足度」が高いことがうかがえます。一方、「満足度」が最も低いのは、「50歳代」で、「満足」、「やや満足」と答えた割合は70.8%と低く、29.2%の人が「不満」、「やや不満」と答えています。

居住年数別では、「満足」、「やや満足」と答えたのは「1年未満」が100.0%と「満足度」が最も高く、「3年以上5年未満」になると70.0%と低くなっています。

【総合満足度】

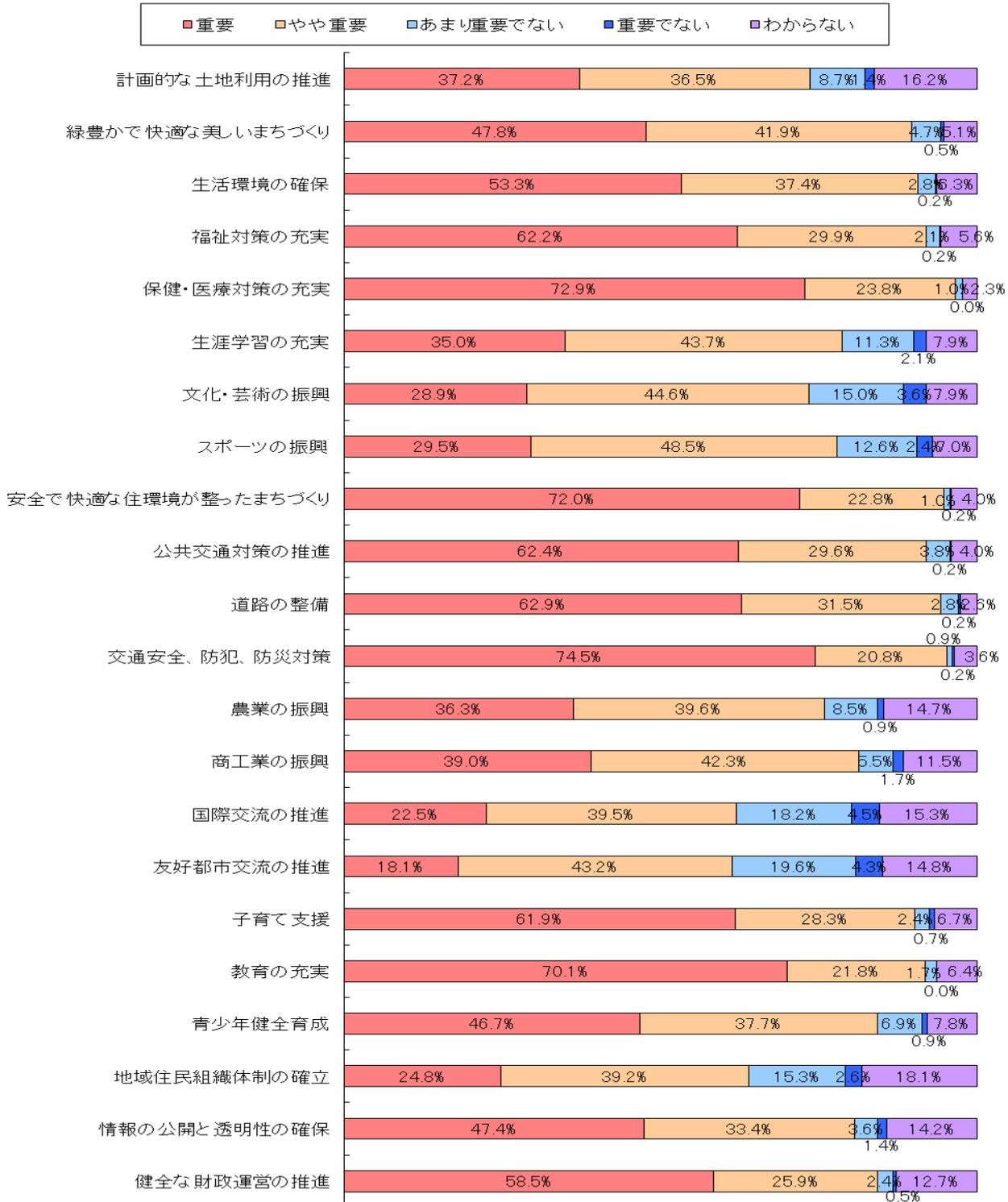


イ 重要度について

重要度は、「交通安全、防犯、防災対策」の4.746と「友好都市交流の推進」の3.602の間に分布しました。重要度の平均値は4.324となっており上位と下位の項目は次のとおりです。

1位	交通安全、防犯、防災対策(4.746)	18位	スポーツの振興(3.969)
2位	保健・医療対策の充実(4.727)	19位	文化・芸術の振興(3.870)
3位	安全で快適な住環境が整ったまちづくり(4.723)	20位	地域住民組織体制の確立(3.833)
4位	教育の充実(4.714)	21位	国際交流の推進(3.676)
5位	福祉対策の充実(4.606)	22位	友好都市交流の推進(3.602)

【重要度】

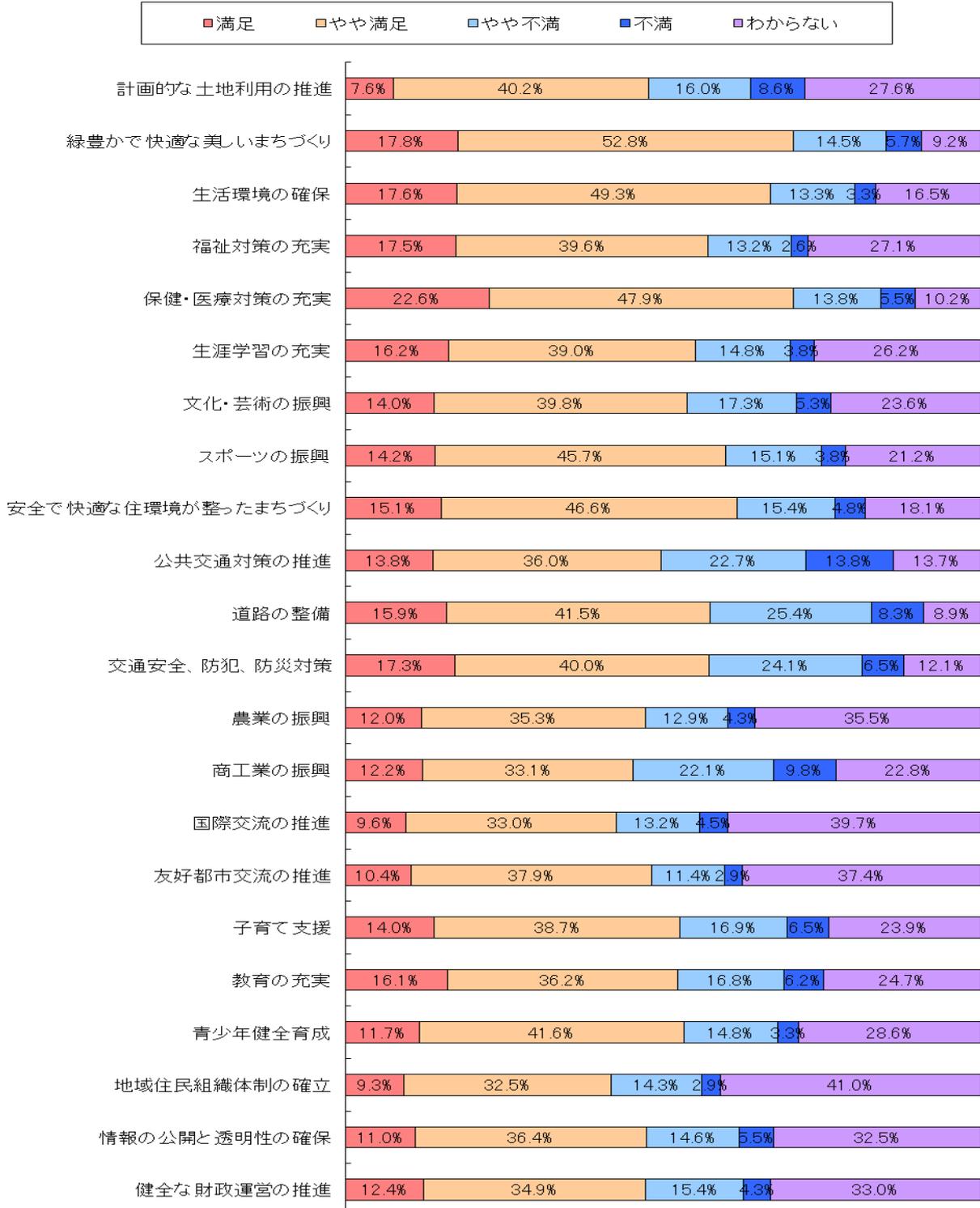


ウ 満足度について

満足度は、「生活環境の確保」の3.772と「公共交通対策の推進」の3.115の間に分布しました。満足度の平均値は3.536となっており、上位と下位の項目は次のとおりです。

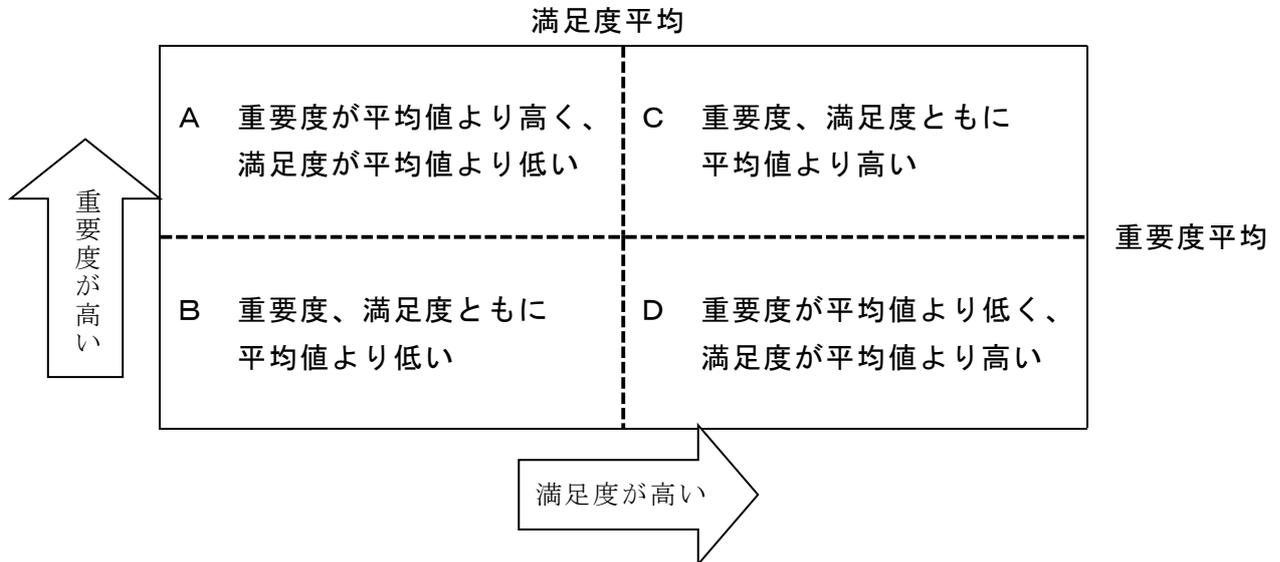
1位	生活環境の確保(3.772)	18位	交通安全、防犯、防災対策(3.427)
2位	福祉対策の充実(3.770)	19位	道路の整備(3.344)
3位	保健・医療対策の充実(3.761)	20位	計画的な土地利用の推進(3.309)
4位	緑豊かで快適な美しいまちづくり(3.689)	21位	商工業の振興(3.205)
5位	生涯学習の充実(3.665)	22位	公共交通対策の推進(3.115)

【満足度】



エ 重要度、満足度の平均値散布図による分析（重要度・満足度の散布図を参照）

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



Aの領域・・・取り組みの必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実を求められていると考えられます。このため**従来の取り組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目**としてとらえることができます。

「道路の整備」、「公共交通対策の推進」などが該当します。

Bの領域・・・取り組みに対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、**今後取り組みの見直しなどを検討する必要がある項目**としてとらえることができます。

「商工業の振興」、「計画的な土地利用の推進」が該当します。

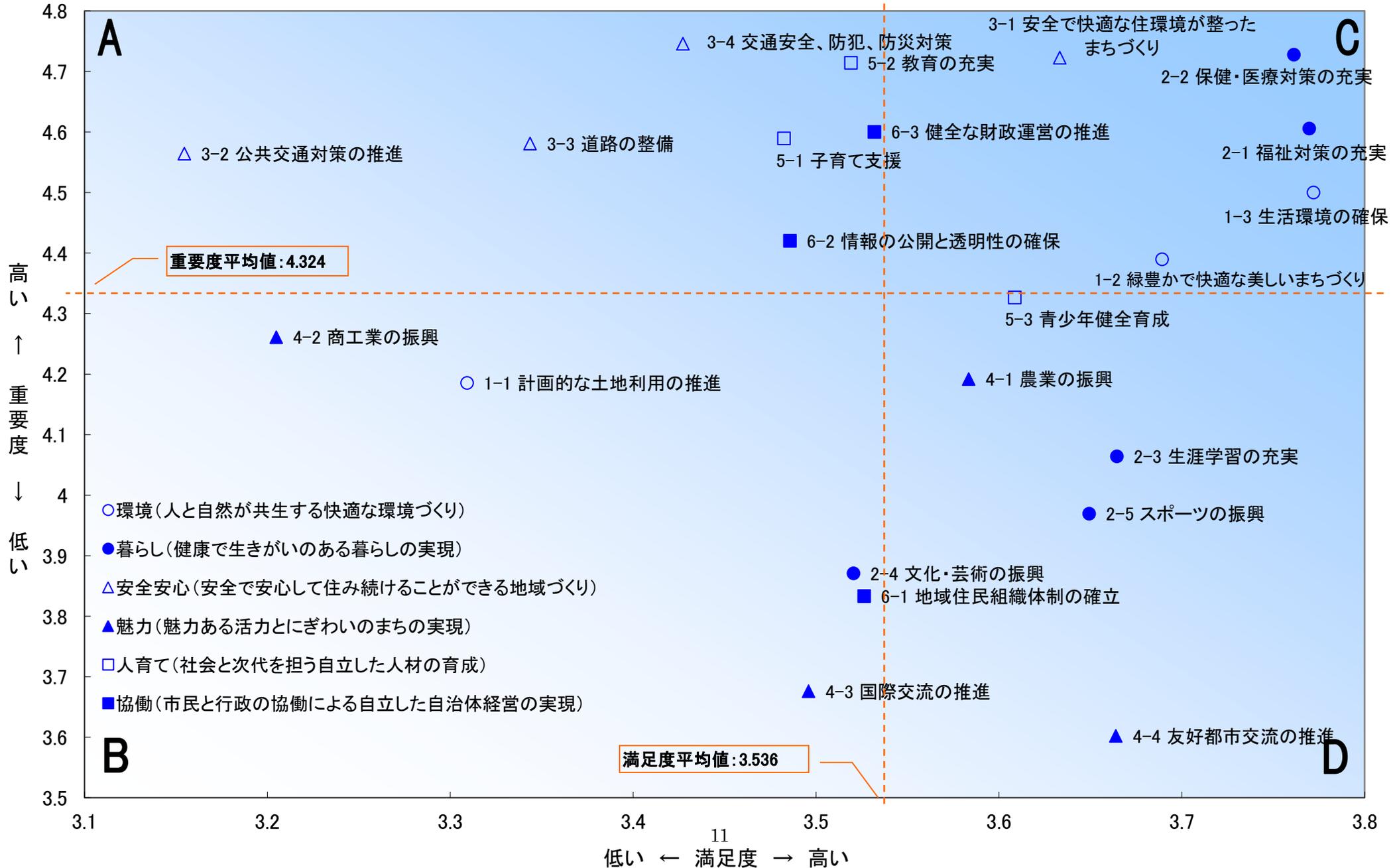
Cの領域・・・取り組みの必要性は十分認識され、その取り組みにも満足されているものと考えられます。このため**今後も現在の水準を維持していく項目**としてとらえることができます。

「福祉対策の充実」、「保健・医療対策の充実」などが該当します。

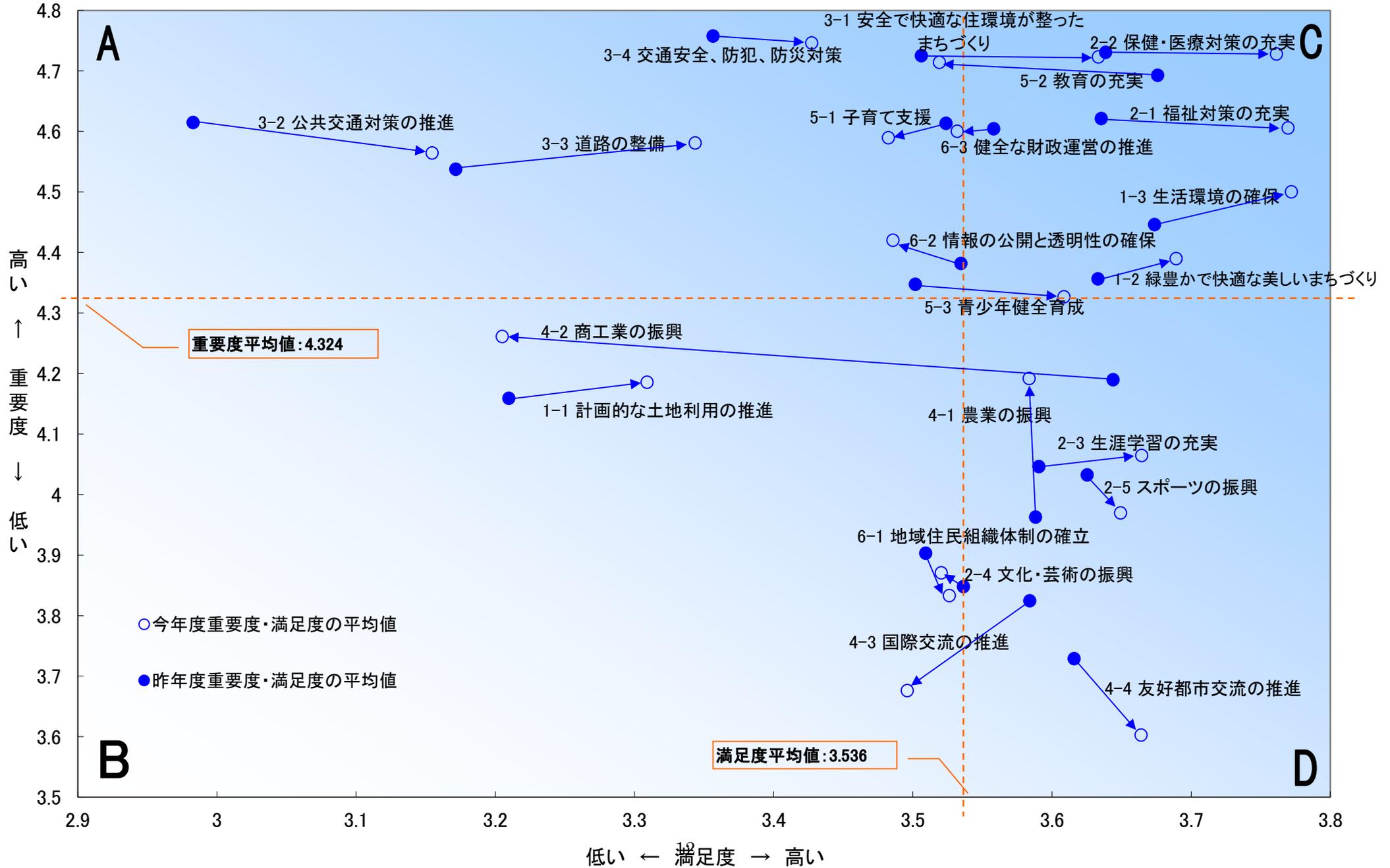
Dの領域・・・取り組みの必要性は低いが、満足されているものと考えられます。**今後も現状のまま保つ維持項目**としてとらえることができます。

「友好都市交流の推進」、「スポーツの振興」などが該当します。

27年度 重要度・満足度の散布図



26年度－27年度 重要度・満足度の散布推移



オ 前年度調査との比較

総合満足度は、前年度の 3.863 から 3.831 と、0.032 ポイント下降したが、「やや満足」の水準を維持しています。

重要度は 22 項目のうち「農業の振興」「商工業の振興」など 10 項目が前年度に比べ上昇しており「国際交流の推進」「友好都市交流の推進」などの 12 項目が下降しています。

満足度は、22 項目のうち「公共交通対策の推進」「道路の整備」など 14 項目が上昇しており、「商工業の振興」「教育の充実」などの 8 項目が下降しています。

○上昇幅の大きい項目

【重要度】

項 目	上昇幅	今回調査	前年度調査
4-1 農業の振興	+0.230	4.192	3.962
4-2 商工業の振興	+0.071	4.261	4.190
1-3 生活環境の確保	+0.054	4.500	4.446
3-3 道路の整備	+0.044	4.581	4.537
6-2 情報の公開と透明性の確保	+0.038	4.420	4.382

【満足度】

項 目	上昇幅	今回調査	前年度調査
3-2 公共交通対策の推進	+0.172	3.155	2.983
3-3 道路の整備	+0.172	3.344	3.172
2-1 福祉対策の充実	+0.135	3.770	3.635
3-1 安全で快適な住環境が整ったまちづくり	+0.127	3.633	3.506
2-2 保健・医療対策の充実	+0.122	3.761	3.639

○下降幅の大きい項目

【重要度】

項 目	下降幅	今回調査	前年度調査
4-3 国際交流の推進	-0.148	3.676	3.824
4-4 友好都市交流の推進	-0.127	3.602	3.729
6-1 地域住民組織体制の確立	-0.070	3.833	3.903
2-5 スポーツの振興	-0.063	3.969	4.032
3-2 公共交通対策の推進	-0.051	4.564	4.615

【満足度】

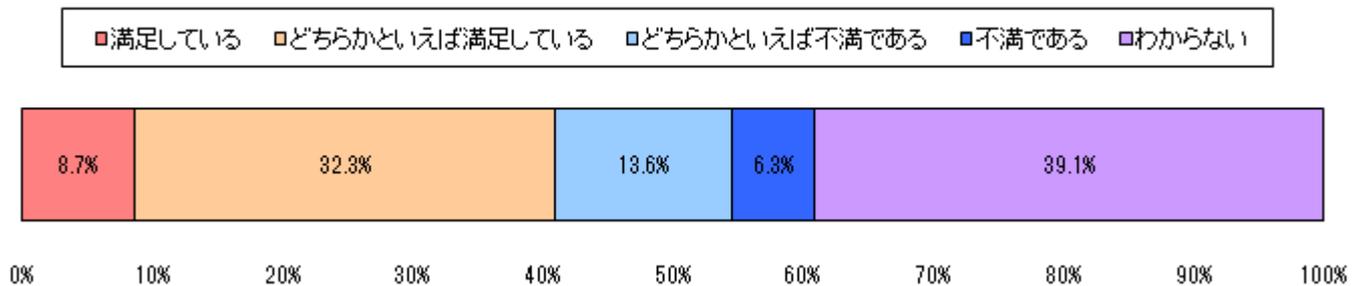
項 目	下降幅	今回調査	前年度調査
4-2 商工業の振興	-0.439	3.205	3.644
5-2 教育の充実	-0.157	3.519	3.676
4-3 国際交流の推進	-0.088	3.496	3.584
6-2 情報の公開と透明性の確保	-0.049	3.486	3.535
5-1 子育て支援	-0.041	3.483	3.524

3 その他（市の職員の仕事ぶりについて）

市の職員の仕事ぶりについては、41.0%の人が「満足している」、「どちらかといえば満足している」と答えており、「わからない」を除くとおよそ7割弱(67.3%)の人が“満足している”と評価しています。一方、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ人のうち、もっとも多かった理由は「対応や態度が悪い」で38.8%でした。

その他の意見として、「仕事の手順が悪い」、「事務的」等のご意見をいただきました。いただいた意見を真摯に受け止め、市民から愛される職員を目指しより一層職員の意識を高めていきます。

【職員の仕事ぶりについて】



【「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ1番の理由】

